

平成30年度 市政アンケートモニター調査 反映状況

	調査項目（実施課）	反映状況
1	「南アルプスユネスコエコパーク」に関する調査（環境創造課）	<p>《平成31年3月～ 実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ライチョウが市内に生息している人を知っている人の割合 37%」及び「南アルプスユネスコエコパークの認知度 47%」という調査結果を、南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画《静岡市域版》中期実行計画(2019年度～2022年度)における評価指標の基準数値として採用した。 ・「南アルプスユネスコエコパークを何で知りましたか」という問いに対し、新聞、テレビ、広報紙が回答の85%を占めたこと、また、「南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画(静岡市域版)に掲げる取り組みで、特に力を入れるべきと考える取り組み」として積極的な情報発信という回答が2番目に多かったことから、報道機関等への積極的な情報提供を実施し、さらなる南アルプスユネスコエコパーク認知度の向上を図っている。
2	「静岡市の教育」に関するアンケート調査（教育総務課）	<p>《平成30年度 実施》</p> <p>第2期静岡市教育振興基本計画後期アクションプラン(2019年度～2022年度)策定に当たり、市政アンケート調査結果を取組内容に反映した。</p> <p>今後ますます力をいれて取り組むべき項目としてあがった教職員の多忙解消や児童・生徒の不登校対策については、それぞれスクール・サポート・スタッフや訪問教育相談員を新たに配置するなど、施策の充実を図っていく。また、認知度が十分でないとの結果となった本市が重点的に取り組んでいる小中一貫教育については、グループ校ごとに小中一貫教育準備委員会において具体的な取組を話し合うなど保護者や地域住民への周知を図っていく。</p>
3	「市民の防犯意識」に関するアンケート調査（生活安心安全課）	<p>《令和元年6月～ 実施》</p> <p>地域防犯活動への参加について、「今は参加していない」との回答は86.9%と、防犯活動に携わっている人は少ない。しかし、このうち「今は参加していないが、できれば参加したい」との回答が53.8%であったことから、市民が気軽に防犯活動を行うことのできる市民ボランティア活動「しずおか防犯パトロール」の募集を令和元年6月から実施し、市民約600名が登録してそれぞれ防犯活動を行っている。</p> <p>令和2年度以降も新規参加者の募集を行い事業を推進していく。</p>
4	「ごみ分別アプリケーション」に関するアンケート調査（収集業務課）	<p>《平成31年4月 実施》</p> <p>平成31年4月より、静岡市ごみ分別アプリ「ごみナビ」を配信した。今回の調査で、「どんな機能や情報があれば使ってみたいと思いますか。(複数回答可)」という設問に対し、「収集日カレンダー」が91人と最も多く、次いで「ごみ分別事典」が88人、次いで「収集日通知機能」が87人となったことから、これらの機能を含めたアプリを配信した。</p> <p>また、「どういった経緯でアプリに興味を持つことが多いですか。(複数回答可)」という設問に対し、「インターネット(SNSを除く)」が58人と最も多く、次いで「家族や知人の口コミ」が49人となったことから、市ホームページやチラシでの周知を行った。今後もより多くの方に知っていただけるよう、周知活動を行っていく。</p>
5	「市民ギャラリーの利活用策」に関するアンケート調査（文化振興課）	<p>《令和元年5月 実施》</p> <p>ストレンジシードの会場の一つとして貸し出すについて、「良いと思う」回答が62.5%と多かったことから、ストレンジシード2019にて8本の演劇を市民ギャラリーにおいて実施した。</p> <p>《令和元年11月～令和2年3月 実施》</p> <p>障がい者の美術作品の展示会場について、「良いと思う回答」が71.5%と多かったことから、障がい者の個性と能力の発揮及び社会参画の促進につなげるために、市民ギャラリーのパンフレット見直し及び特別支援学校への配布を行った。</p>